

2007年10月1日02時21分ごろの神奈川県西部の地震について

神奈川県で震度5強

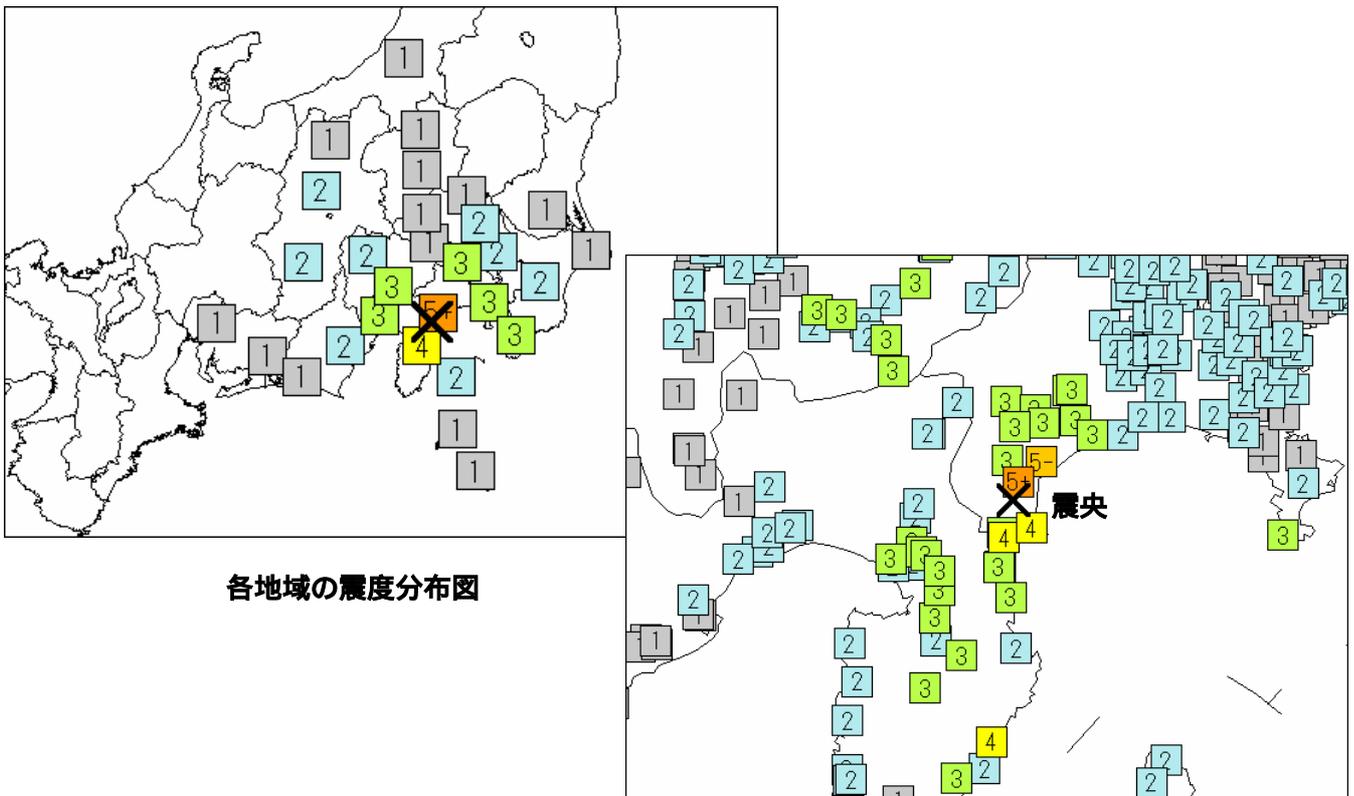
10月1日02時21分ごろ、神奈川県西部の深さ約14kmで、M4.9(暫定値)の地震がありました。この地震により、神奈川県箱根町で震度5強、神奈川県小田原市で震度5弱を観測したほか、関東地方から東海地方の一部にかけて震度4～1を観測しました。この地震による津波の心配はありません。

この地震の発震機構は、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ型で、フィリピン海プレートと陸のプレートが衝突していると考えられている場所で発生した地震です。

04時00分現在、震度1以上を観測した余震はありません。

なお、この付近では、1990年8月5日にM5.3の地震が発生し、千葉県館山市で最大震度4を観測しています。

揺れの強かった地域では、念のため余震に注意して下さい。



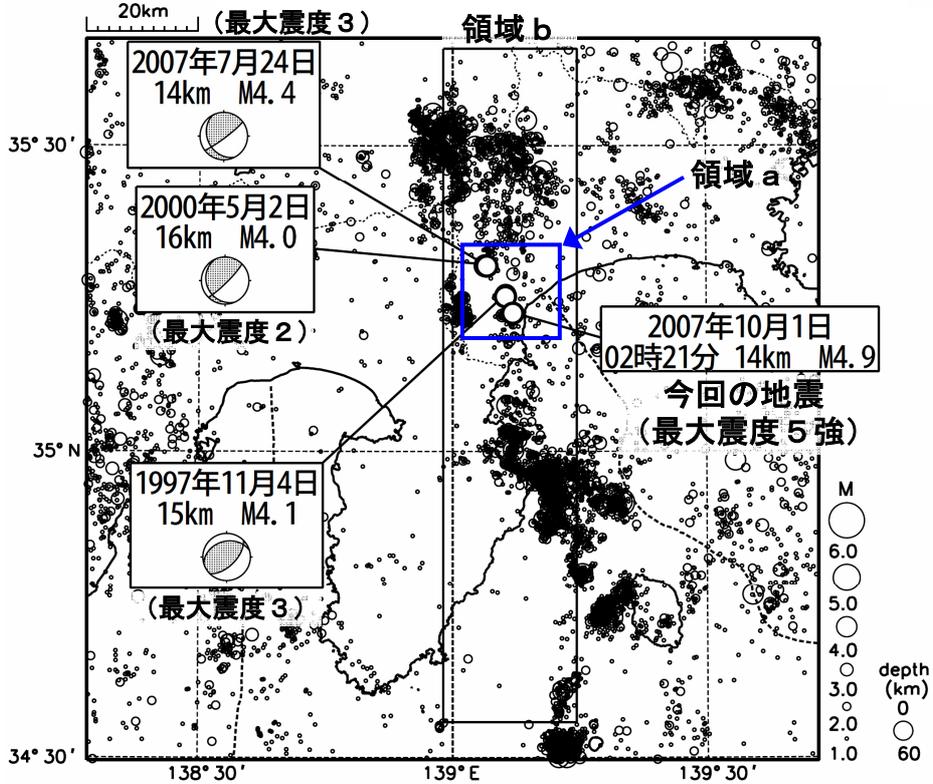
各地域の震度分布図

各観測点の震度分布図(震央近傍を拡大)

2007年10月1日 神奈川県西部の地震（発生場所の詳細）

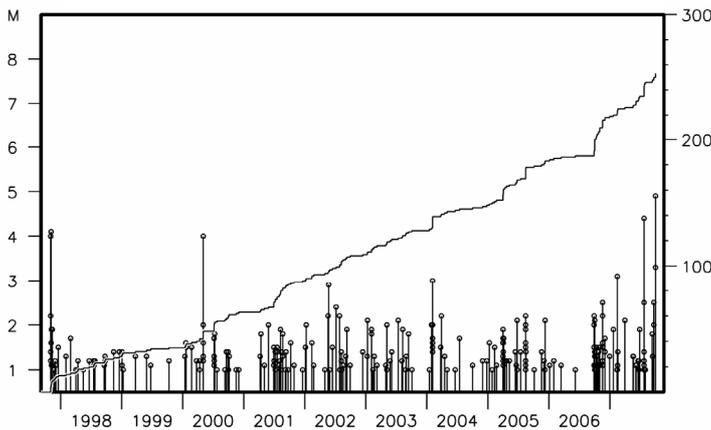
震央分布図

(1997年10月1日～2007年10月1日3時、深さ60km以浅、M1.0以上)



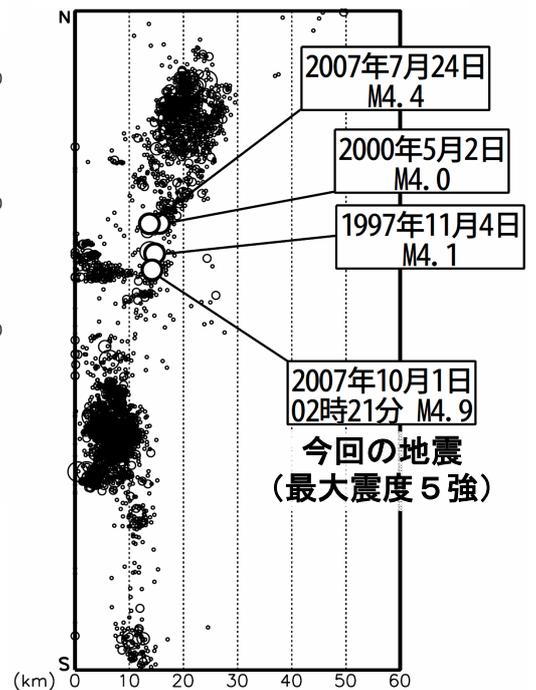
丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

領域a内の地震活動経過図および回数積算図



横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

領域b内の南北断面図

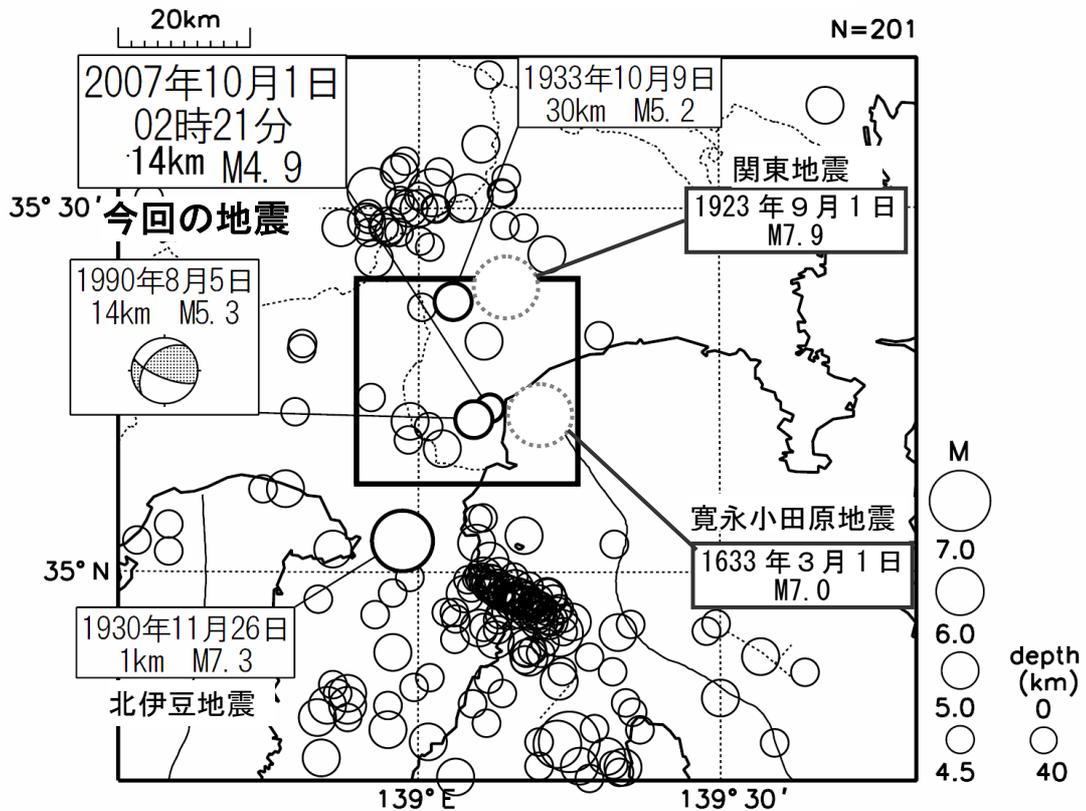


2007年10月1日 神奈川県西部の地震 (周辺の過去の地震活動)

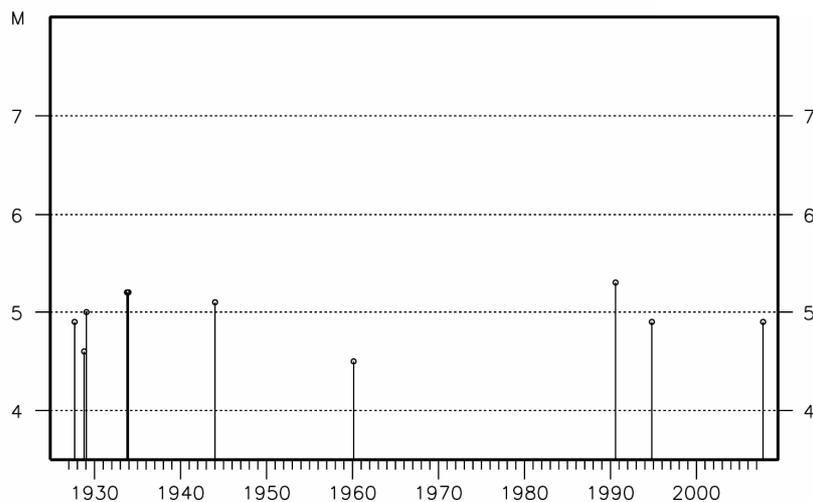
震央分布図

(1926年1月1日～2007年10月1日03時、深さ40km以浅、M4.5以上)

※1633年嘉永小田原地震及び1923年関東地震を○で表示



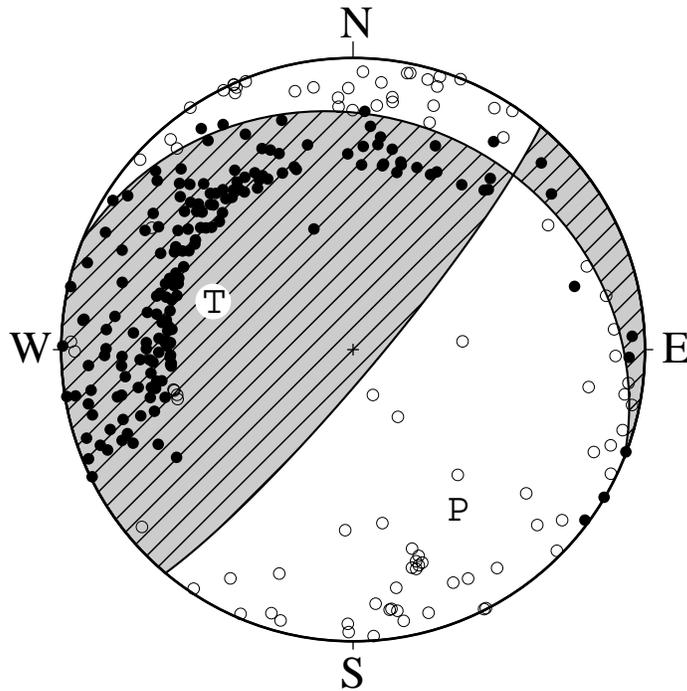
上図の四角で区切った領域内の地震活動経過図



横軸は時間、縦軸はマグニチュード。縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

発震機構解 [初動解] (暫定)

2007/10/01 02:21



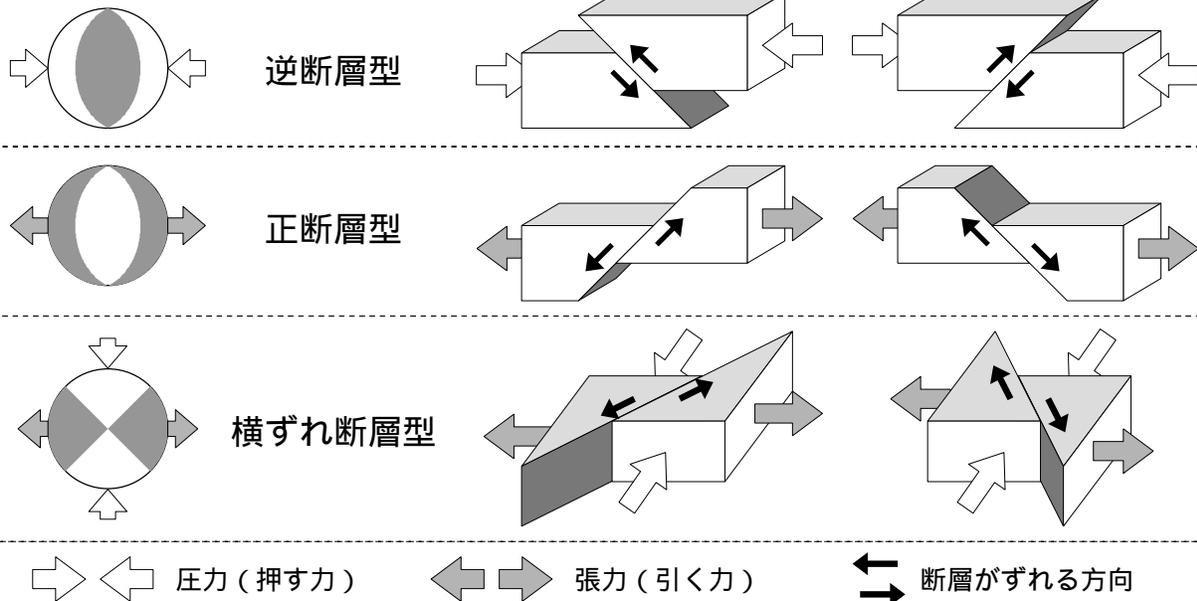
北北西 - 南南東方向に圧力軸を持つ型

● は初動が上向きの観測点、○ は初動が下向きの観測点を示す。
P は圧力軸、T は張力軸の方向を示す。(下半球等積投影)

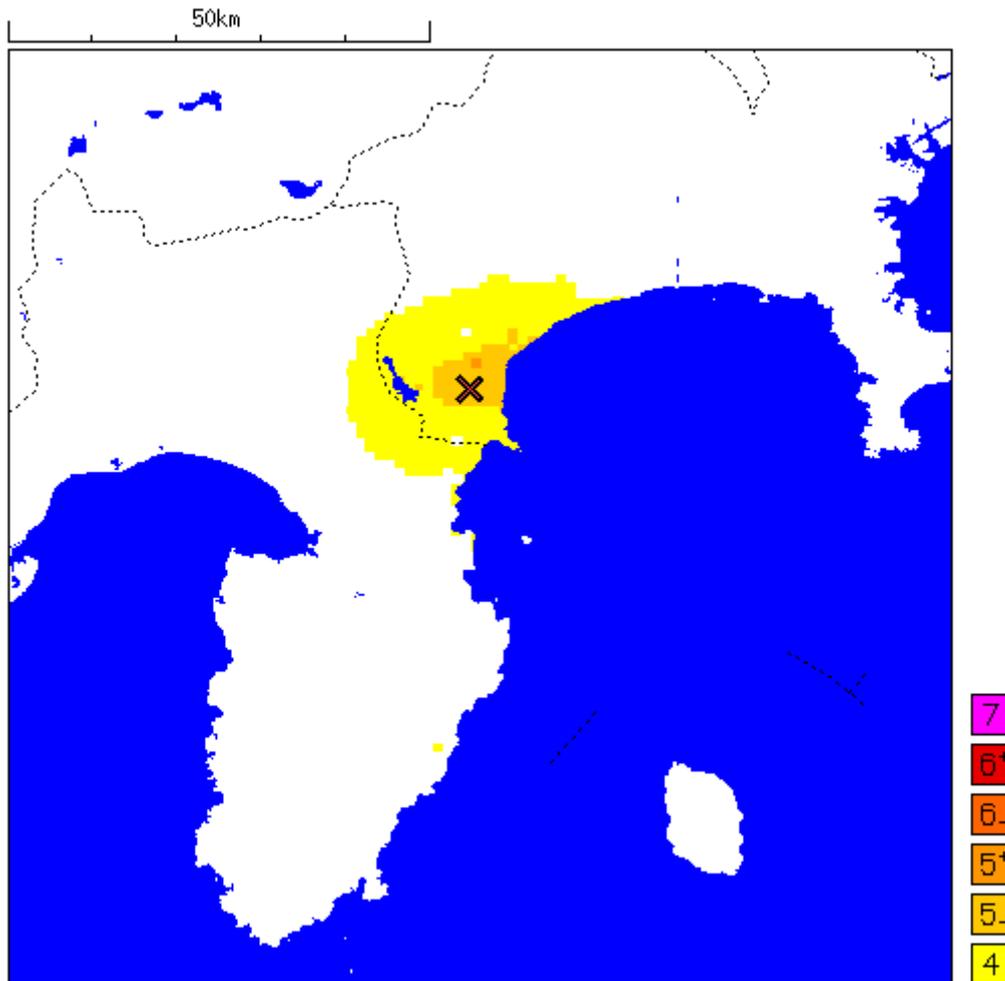
発震機構解 [初動解] について

地震波の初動方向は、地震時に働く力の向きにより異なります。
また、地震時に働く力の向きは、断層の型により異なります。
発震機構解は、これらの性質を用いて地震の初動方向から断層面を推定するものです。

以下に、発震機構解と断層の型の対応関係の典型的な例を示します。



2007年10月1日02時21分頃の神奈川県西部の地震 (M4.9 深さ14km：暫定値)の推計震度分布図



〔解説〕

神奈川県西部から静岡県東部・伊豆地方にかけて震度4以上の分布が広がっています。

震央付近では、震度5弱の分布が見られます。これらの地域では、物が倒れたり、ガラスが割れるなどの被害の発生が想定されます。

< 推計震度分布図利用の留意事項 >

個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目してご利用下さい。